

# 競技上・審判上の注意

- 一、 今大会は、令和六年度日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定及び公認審判規定に則り行います。
- 一、 選手は、日本バドミントン協会検定審査合格品を着用して試合に臨んで下さい。※注 1
- 一、 A クラス、B クラスは全て正式ポイント。C クラスは 15 点 3 ゲームマッチ（延長は 20 点まで）。
- 一、 試合の勝者がスコアシートを持って本部へお越しください。負けた選手は試合をしたコートの次の試合の得点板をして下さい。
- 一、 試合前の練習は初戦のみ 2 分間認めます。対戦相手と練習をして下さい。片方の選手が初戦（シード選手等）の場合、もう片方の選手が二回戦であっても練習を認めます。
- 一、 開会式終了後、速やかに試合を始められるように、タイムテーブルの一巡目と二巡目の選手は、試合のできる服装で開会式に参加してください。
- 一、 タイムテーブルの一巡目のみコートが固定になります。一巡目の選手は、開会式終了後に自分が試合をするコートへ直接移動してください。二巡目の選手は選手集合所にお集まりください。
- 一、 タイムテーブルの二巡目以降からは全てのコートで流し込みになります。放送によく注意してください。
- 一、 コーチ席に座る方の服装について、I 種大会の規定に基づいた服装でお願いいたします。※注 2
- 一、 主審、線審二名は責任コートで割り当てられたコートを担当するチームで行ってください。また、一巡目に限り得点板も責任コートのチームから割り当てるようお願いいたします。（二巡目以降、敗者が得点板）
- 一、 審判の服装について、ラフ過ぎない服装で従事してください。また、必ず体育館シューズを履くようにしてください。（スリッパは禁止です。）
- 一、 審判（主審、線審）の補助について、ベスト 16 までの試合は経験が浅く一人での審判に不安がある方は、1 名だけ審判補助を付けることを許可します。（責任コート内をお願いいたします。）準々決勝以降は、補助はつけないようにしてください。

## 参照

注 1 日本バドミントン協会大会運営規定 第 23 条、第 24 条

注 2 日本バドミントン協会公認審判規定 第 3 条第 5 項 (6) ②コート外からのアドバイス